

# 行政視察報告

行財政委員会では、令和元年8月19日・20日に兵庫県相生市、岡山県玉野市に行政視察を行いました。

## 相

相生市では、「子育て応援・定住促進施策」として、「11の鍵」を掲げ、「子育て応援都市」を宣言しています。

特に現代版寺子屋として、「相生っ子学び塾事業」について担当課職員より説明を受けました。

小学5・6年生の希望者に週1回、国語と算数の学習塾、月2回程度、英語と珠算の教室を地域ボランティアや教師OBなどの協力により、無料で実施しています。

「子育て応援施策」を一時的な子育ての側面からだけでなく、地域コミュニティ形成の基礎として捉え、人口減少、少子高齢化に本気で取り組もうという強い思いを感じました。

また本市でも、少子高齢化は確実に進んでいます。誰もが一生住み続けたいと思える施策、アイデア、市民への周知の仕方を今一度議会としても考えていかなければなりません。



## 現代版の寺子屋

小学5・6年生の希望者を対象に、放課後の居場所づくり・自習力と基礎学力の向上を図るため、週1回の国語と算数の学習塾、月2回程度の英語、月3回の珠算の教室を無料で実施しています。  
(珠算のみ小学4年生も対象)  
教育委員会 生涯学習課/  
TEL.0791-23-7144



## 玉

玉野市では、旧交通システムにおいては市内を2路線に分け、循環路線で市内をくまなく回っていたため、目的地に到着するのに時間がかかることから利用者離れが進み、本市と同じく「空気がバス」と揶揄されるようになりました。

市長主導による上位計画である玉野市総合計画の下、3年かけて住民アンケート調査、関係者ヒアリング調査、住民意向、公共交通に係る現況、問題点を精査して玉野市地域公共交通網形成計画を策定しました。

これに基づきコミュニティバスは循環路線ではなく、往復路線として目的地までの所要時間を短縮しました。

同時に予約制による乗合タクシーを導入し、目的地またはバス停へ送迎する2つの交通手段を併用する新しい交通システムを確立し、市民の満足度、利用者数の増加、更には事業費の削減につなげました。

玉野市地域公共交通網形成計画では、計画区域は、市内全域とし、計画期間は、平成29年度から令和3年度までの5年間としています。また、本市への導入策としては、循環型路線から往復型路線への変更、バスとタクシーを併用した交通システム、徹底して市民の意

見を聴く場を設け、常に利便性の向上に心がけること。これらを取り入れ、弥富市版の地域公共交通網形成計画を策定し、市民の誰もが利用しやすい持続可能で利便性の高い公共交通網の作成を目指すべきと意見が集約されました。

